

第3回地域医療構想 庄内地域検討部会の概要

日時 平成28年3月14日（月） 18:45～20:30
場所 鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

1 地域医療構想の素案について

- 事務局から資料により説明。
- いただいた御意見等
 - ・病床機能を分化しなさい、というのはわかる。或いは在宅医療に移行しなさい、介護施設に行きなさい、というのもわかる。しかし、病院としての病床数は、果たしてこれでやっていけるか、というところか。
 - ・介護施設を増やす、そのためには、人材を増やすことはわかるが、介護職の給料の安さ、定着率の低さ、或いは熱心に介護しようという方が集まらないということがあるのではないか。
 - ・2025年の推計値、2,071床とするためには、病床稼働率をかなり上げないといけないが、かなり無理があるのではないか、
 - ・高齢者を介護へ、という流れだが、介護職の人員が枯渇している、その中で介護に移行できるのか、ということ。
 - ・高度急性期と急性期について、在院日数をどれくらいに設定しているのか。平均在院日数が12日前後の急性期病院は、病床稼働率90%で回したら、職員が過労で辞めてしまう。余分な病床がある程度ないと回っていかない。現場の実感から乖離した形で、数字が歩いている気がする。そもそも、高度急性期と急性期の定義付けを厳格にすることと、在院日数は推し量る要素の1つにすぎないが、必要病床数を在院日数や回転率と全然関係なく割り出すというのは、違和感がある。
 - ・急性期、高度急性期に対する考え方が、全国で定まっていない。そもそも、急性期医療の適用基準が地域によって違う訳である。違う基準で急性期医療の範疇を考えている。
 - ・25ページのところで、「病床の利用が低迷している状況にあります。」とかなり踏み込んだ記述をしているが、これでよいのか。また、19ページの一番上の○だが、大筋ではよいが、80歳以上でも急性期になるので、基幹病院だけに急性期があつて、中小病院では、急性期やらなくて回復期だよ、というのは実際できないこと。高齢者の急性期は2次医療機関でも対応しなければならない。この記述のようにクリアには別れない。

- ・介護職の教育機関も定員割れが続いている。収入が他分野より少ない、ということもあるが、高校の教員が介護職に進むのにブレーキをかけている、という実態がある。高校の教員も、地域を守っていくために、高校生を介護職、看護職へ進ませる努力をしてほしい。そのように県からも働きかけてほしい。
- ・ある国公立大学の教員に伺ったところ、受験者倍率は5倍程度で推移しており、倍率低下はない、との回答であった。今後は、看護職の大学志向、中央志向に対応するため、管内の四年制大学へ看護学科を創設していただきたい。
- ・稼働率から言えば、ハードの分配上、80%以上で使えない。全く新しいコンセプトで作らなければならない可能性がある。地域医療連携推進法人ができれば、病床を融通できる。
- ・看護職については、施設を持つ診療所の医師の嘆きで一番多いのは、介護職員が集まらないこと。養成数が少ないのは勿論であるが、事業体として将来まで安定しているのか、という不安が一番強いのだと思う。要するに、足元を見られているということ。若い人達が、ちゃんと結婚できて子どもを育てることができて、両親の面倒までちゃんと見れる、という生活基盤として介護職が成立することを見せないと、いつまで経っても解決しない。
- ・介護職の人材確保はかなり深刻で、これから増え続けるニーズに対して、どう対応していくのか、そこが今後の最大の課題かと思う。
- ・人材として活用するのは、高齢者、いわゆる互助のしくみを作っていくこと。若い方を介護分野に、というのは、中々厳しいものがあるので、高齢者が支えていく時代かなと思う。
- ・人材確保について、資料20ページの専門医制度の関連だが、1つは、地域医療連携推進法人など、新たな法人制度の活用の中で、人材を確保していくことも必要と考える。専門医制度で言えば、自治医大出身医師や県の修学資金のへき地枠を借りて卒業した医師については、9年間のへき地勤務義務がある。義務年限内に専門医資格を取得させるような勤務先の確保が必要である。地域の小さい病院でも、基幹型病院の連携施設になるような記載を追加したほうがよい。
- ・医療圏の中に、基本18診療科の一階部分の基幹病院が1つはないと、若い医師は集まって来ない。1つ基幹病院があれば、あとは連携医療機関になって、基幹病院を核にしてリクルートできるので、そういった仕組みを作る必要がある。
- ・DPCデータに反映される患者が全てではない。交通事故或いは労災、或いはDPCデータの対象外となる長期入院患者は、DPCデータには反映されていない。傾向としてはよいが、DPCデータでは推し量れない部分があることに留意いただきたい。

4 その他

- 事務局より今後のスケジュールについて説明。

5 閉会

以 上